

7月7日(金) 同窓会総会 開催

乳がん向き合い30余年 僕が伝えたいこと

ご自身のため
大切なご家族やパートナーのため ぜひご高聴ください!

- ▷ 乳がん年齢は関係ない 20代から100代まで罹患する
- ▷ おっぱいは切りたくない! 死にたくない! どうする?
- ▷ 自分で調べる方法、ちゃんと知ってますか?
- ▷ これだけやれば安心! っていう検査方法は?
- ▷ 子どもを産まない乳がんになりやすいってホント?
- ▷ 夫やパートナーができることってなんだろう?...など

こんなお話を、心地よい静岡弁でおっぱい先生が講演します。

岡本 恭和氏 (95期)



岡本外科クリニック院長
日本乳癌学会認定医(日本外科学会専門医、日本消化器外科学会認定医)
「マンモグラフィ検査精度管理中央委員会による読影試験による評価」A認定

国立研究開発法人国立がん研究センターの統計(2012年)によれば、女性の十一人に一人は、一生のうちに乳がんになる可能性があるとされています。
乳がんのリスクにどう立ち向かう? 早期発見の方法は?
静岡県内でも十箇所に満たない乳腺疾患を中心とした診療所の一つ岡本外科クリニック(静岡市駿河区曲金)の院長岡本恭和氏が、95期の代表として講演します。

静岡・静岡高 関東同窓会 会報

静岡・静岡高関東同窓会
会報 第83号
平成29年6月5日発行
編集人 八牧 浩行 (82期)



高 印

目次

2 頁	乳がんは患者さんだけの病気ではない
3 頁	静岡センバツ2試合観戦記
4 頁	静岡お茶摘みツアー たかが同窓会⑭
5 頁	カメラ雑感―爺の自慢話?
6 頁	私と静岡とおでん
7 頁	今年も有志で岩手ツアー
8 頁	卒業15年目の会 28年度決算
9 頁	追悼 岡部政之氏

記

日時 七月七日(金) 午後六時より
場所 日本プレスセンタービル10階
東京都千代田区内幸町二
二一(会場案内は下記)

懇親会費 五〇〇〇円
(但し学生は一〇〇〇円)

年会費三〇〇〇円は当日受け付けもしますが、この会報に同封の振込用紙により納入をお願いします。

同窓会総会 議題

- 一号議案 平成二十八年度事業報告、会計報告
- 二号議案 平成二十九年度事業計画、予算計画

講演

乳がん向き合い30余年
僕が伝えたいこと

*ご同伴者も参加できます
参加費1千円を申し受けます

会場案内図



会場 日本記者クラブ 大ホール

日本プレスセンタービル10階
東京都千代田区内幸町二一
電話 〇三(三三〇三)一七二
FAX 〇三(三三九三)六三三
東京メトロ千代田線・日比谷線 霞ヶ関駅C4
東京メトロ丸の内線 霞ヶ関駅B2
都営三田線 内幸町駅A7
JR新橋駅 日比谷口(SL広場側)

乳がんは患者さんだけの病気ではない

講演預告

「あいらつ」

95期 岡本 恭和

こんにちは。私は外科医として患者さんのケアと治療をしています。

その一方で、以前は静岡済生会総合病院「婦人検診バス」に十数年間同乗し、乳がんを早期発見するための検診と、家庭でもできる自己診断への意識を高めていただくお話をしていました。その後も、クリニックの診療において、同様の啓蒙を続けています。

七月七日は堅苦しい話ではなく、患者さんに話すようないつもの感じで講演させて頂きたいと思っています。



私も大きなしこりを抱えて30年、良性みたいだけど不安。恭和君の講演は最前列で聴きたい。

マンモグラフィは痛い！
MRIじゃダメですか？

私は毎年検査しているから安心ですね？

恭和！後で妻に話せるように、
分かりやすく頼む！

女房の代わりに聴きに行くぞ、恭和～!

『しこりを見つける』っていうけど、正直わからなくない？

恥ずかしながら『乳腺』がどんなものかすら
知らなかった私、絶対聴きに行きます！

俺たちって、乳がんのこと真剣に考えたこと無かったよな。

聴かせて
おっぱい先生

岡本君はこんな医者—同期医師から—

岡本恭和君は乳がんの診療に
関して、知る人ぞ知る名医です。
診断と治療だけではなく、患者
さんの心のケアと、パートナー
や家族の方たちとのコミュニケーションも大切にしています。そ
のために休日や夜間であっても
患者さんたちに病状の説明をし
たり、相談に乗ったりと、プラ
イベートな時間を割いています。
こうしたことから、静岡県以外
からも岡本君を頼って受診する
患者さんがいて、絶大な信頼を
得ています。

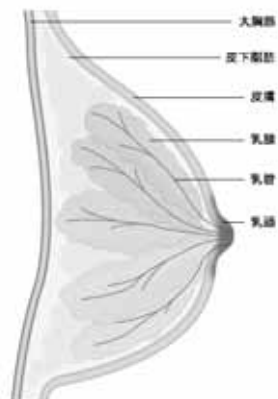
乳がんの患者さんの精神的サ
ポートはとても重要です。大き
な手術が必要な場合、大切な乳
房を失うつらさは想像できない
ほどです。また、手術から長期
間を経ても再発することがあり、
病気との長い闘いが必要とされ
ることも乳がんの患者さんを苦
しめます。

ですから、医師・看護師など
の医療従事者に加えて、周囲の
人たちの理解と援助がとても大
切です。

市川海老蔵さんは小林麻央さんを支えながら、家族と一緒に過ごす時間を大切にしていますよね。あのような姿勢が患者さんへ勇気づけるのです。ですから、患者さん本人だけではなく、患者さんの身近な人たちにも、この病気についてきちんと知っておいていただきたいのです。

女性だけではなく、男性の同窓生の皆さんも、岡本君の講演を聴いてください。乳がんは患者さん一人の病気ではなく、パートナーや家族と一緒に受け止めて、患者さんと寄り添っていくことが必要な病気であることをぜひ理解していただきたいと思っています。

医療法人社団偕翔会理事長
95期 堀川 和裕



画像診断に使われるマンモグラフィ



聖地に在りて

―静高センバツ2試合観戦記

松永 啓 (94期・浜一番)



「春はセンバツから」は歳時記だ。初戦前夜、尼崎市「竹家荘旅館」の宿帳に岩手県内へ住所多数を見て、季節が温もった。「不来方の／＼お城の草に／＼寝ころびて／＼空に吸はれし／＼十五の心」と啄木を感じて館内の南部弁に暖まり、早朝1塁側チケット列に並び、徹夜組付近にわが同期吉永陽子医博と早実OB夫君の勇姿。W帽仲間の談笑に招かれ「静岡とは縁が深い。私達は昭和32年に練習試合をしたよ」と、王投手軍の控選手77歳紳士がここで語る早実長谷町戦

は、高田馬場「ガッツおでん」で語り草。夢の対話で入場。春の陽に萌ゆる緑。大会歌「今ありて」が奏され十五の選手が駆け出せば春物語の幕が開く。

「岳南校」が開花宣言

各校アルプスは「ルパン三世のテーマ」「秘密のアッコちゃん」から「恋」と吹奏に華やき「ビールいかがですか」「暖かいお酒とハイボールどうです」と甲子園フォーティーエイトが笑顔の大攻勢。快音が歓声に響き拍手は渦潮。不来方や駿河草薙から招かれた老若男女は、夢

かうつつか巨大な春祭りに吸い込まれ、球趣満ちてめくるめくその時を迎える。

小比類巻投手4番主将の初回中越一撃に聖地がどよめき揺れる。これにいささかも動じない静岡の速攻が1番村松の快打から始まった。拡大する好機に6番藤田が振り抜くと「うおっ」昭和40年強者秋田高戦の小田義人が乗り移ったライナーは・・・背走するセンターを・・・越えたあっ！回れ回れ。2回から池谷がみちのくの強打線を遮断する。前田、大石、森、稲角、池谷、小柳のクリーンヒットが繋がり岳南校開花宣言。脱帽しタオルをはずして直立不動で歌い上げる「理想は高し富士の山」に始まる故郷の名演奏は「ファ

▶不来方十選手に礼を



▶大阪桐蔭に真向勝負



▶同窓応援吹奏楽団



イティンゲマーチ」「ライトオン」「シリウス」「ガッチャマン」から「希望の歌」の大合唱。「東海の覇者」「岳南健児の意気を見よ」と聖地の青空へ広がる。8回に春が投げると、岩手の本物打線が再び火を噴くが、打球は乱れない。成瀬の力強い打球による先発全員安打達成に沸き立つなか、両校の澁刺プレーが続き、ついに甲子園通算32度目の勝利が訪れた。

アルプス内野が笑顔で埋まり握手と抱擁が広がる。素晴らしい試合だった。「不来方の／＼すらすらおどと／＼握手する／＼十五の心／＼頼もしきかな」各期各ファンの夕べの席を共にし94期は野球部宿舎北梅田ハートンホテル最寄の「グリルアイ」。店長「履正社野球部出身の好青年が「隣の公園で静岡の選手と会話したら、そらクレバーな応答ですわ(笑)」と。甲子園はその中だけではないことを静岡の選手は理解している。

大阪桐蔭と白熱の攻防

27日(月)うららかな聖地に強豪戦は熱を帯び、早実が健闘し敗れた後の試合、地元常勝校・天下の雄・現代のPLとも言う大阪桐蔭と当世公立普通校野球全国筆頭静岡の一戦に数万観衆のまなざしが熱い。池谷得意のスライダーを狙って襲い掛かる



吉永陽子医博(中)と早実夫君

怒濤の6点に1塁側は「昭和45年の高松商は3点」と動揺するも「1点ずつ1点ずつ」と励まし合う。それが成瀬、藤田、稲角、小柳等の猛打6点となり、スコアは、昭和36年夏報徳学園・倉敷工の11回表裏と見まごう驚嘆奇跡。池谷の直球に超高校級のスイングが空をきる快投のもと、2回に連打勝ち越しの静岡が、待望の8点目を7回に挙げると、私はいつしか聖地の丘を駆けていた。一面に花が咲き溢れ、昭和5年春の和歌山中戦で猛攻逆転の鈴木芳太郎投手、鈴木吉朗遊撃手が現れて、もう過去現在未来の時空がひとつだった。岳南の魂は沸騰した。しかし、次の1人のホームが遠い。来たるべき最強の大反撃を受け

た後の 8 回裏、岳南再逆転への意気込みが空転した。9 回に竹内の球が活きて三振をとるのが見えた。皆立ち上がった。岳南の詩を歌い続けた。やがて・聖地の今が・静高の歴史に加わった。有り難うございました。また逢いましょう。永遠に、また聖地で逢いましょう。

エッセー

静岡お茶摘みツアーに行ってきました！

94期 木村 純子

東京の友人から「静岡でお茶摘みがしたいから連れてって！」というリクエストがありました。



クリーンティ松野でお茶摘み

感嘆！「優勝校創造実績率」
あたりには春が満ちてきたようでした。付け足しますと、甲子園で静岡に勝ったチームの優勝は「13 回目／39 敗」3 割 3 分 3 厘（93 年間）となり、この優勝校創造実績率は、常に富士の高きを仰ぎ続けてこそ達成されたものでしょう（泣笑）。

静岡育ちの私ならということなのですが、お茶摘みはしたこともないし、しよーと思っただけ、ありません。さあ、困った、です。

ここは地元の人に聞いてみようというところで、昨年の関東同窓会総会で講演してくれた静岡の茶商、同期の前田富佐男さんに相談して、そふと研究室の坂野真帆さんを紹介してもらいました。そふと研究室は、地元の茶観光や、南アルプストレーキング、またユニークな富士山下山ツアーなどを企画しています。早速、東京からの私たち 8 人の希望に沿った静岡ツアーをアレンジしてくれました。

八十八夜も目の前の 4 月 30 日朝 9 時に、自家用車と静岡に二台しかないお茶のラッピングタクシーで静岡駅をスタート。目指すは安倍川上流の松野地区にあ



浅間神社へお参りに

るクリーンティ松野。ここでは、施設内の茶園で柔らかに伸びたお茶の新芽を手で摘み取ります。摘み取ったお茶は、その場で新茶の天ぷらに揚げてもらって食べられますし、持ち帰ってご飯に混ぜ込んで新茶ご飯もできます。50 軒の農家のお茶を集めて加工しているという思ったよりも大きな工場の見学をしながら、お茶の葉を摘み取ってから加工するまでの鮮度がいかに大切か、機械化をしても、やはり人の感覚で微妙な加減をしながらやっているといった説明を聞きました。

昼前に市内に戻って、元祖安倍川もちの石部屋、元祖わさび漬の田尻屋を回り、今年のパワースポットとして人気の静岡浅間神社へお参り。昼食は浅間

茶町 Kinzaburo は、店づくりや地域への貢献も含めた広い意味でのデザインが優れたお店として、今年始まった静岡県「地域のお店」デザイン大賞を受賞しました。



通りの静岡おでんの名店・おがわで、静岡流のおでんの食べ方を体験。

腹ごなしに駿府城公園を散歩した後は、前田さんのお店、茶町 Kinzaburo へ。取引の始まって間もない新茶の香りがいっぱいの工場を見せてもらい、オリジナルスイーツの茶ふるをいただきながら、10 種類のお茶を試飲。TV チャンピオンお茶通王の前田さんから、お茶にまつわる役に立つ話をたくさん伺いました。

茶町ではお茶、呉服町や静岡駅でも静岡名産をあれこれ買い込み、さらに夕食にとろろ定食もいただき、一同大満足で静岡を後にしたのでした。東京の友人たちは、このツアーを通して、静岡の食の豊かさ、静岡の

人たちの地元への誇りを感じてくれたようでしたが、静岡育ちの私が誰よりも目からウロコだったことは間違いありません。改めて故郷を観光する面白さを感じた一日でした。

たかが同窓会、

されど同窓会⑭

同声相応じ

同気相求む

71期 浦田 彰

今、一人の親友が病の床にある。癌、厳しい闘病の毎日です。名は A。私と同年同月生まれ。傘寿を越えた年頃であってみれば、癌というヤマイは珍しくもないといえますが、やはり同世代としては辛いものです。当時、航空会社の支社長であった A と私は三十年ほど前、同じ赴任地の青森で知り合い、以来三十年、人生半ばで得た友というわけです。

A との出合いは、地元青森で活動していた異業種交流団体、名付けて「じょっぱり会」（津軽方言で剛情っ張り）。青森に単身赴任した省庁や企業の責任者たち、中央から出向の副知事、県警本部長、裁判所長をはじめ銀行・保険金融機関の支店長、新聞社の支局長、各メーカーの

支社長など単身赴任の転勤族が寄ってたかって日頃の憂さを晴らそうという集まり。堅苦しいロータリークラブと違って、自炊生活の悪知恵から景気の裏談義、ご当地グルメ探訪、夜の街怪情報まで、袴を脱いで飲み且つ語り合う気軽な交流会です。とはいっても商売仇が同居しているわけですから激烈な洋酒でシェアー争いのS社とN社、特ダネを狙うA新聞とY新聞、預金高・貸付高を争うD銀行とF銀行等々水面下での探り合いもあったでしょうが、気の合った異業種同志連れだってゴルフを楽しんだり、保険の支社長とタイヤ会社の現地法人社長が馴染の酒場で親しくなったり、私も西も東もわからない銀行の新任支店長に自慢？の手料理を振る舞ったりしたものでした。

Aとはそうした仲間の一人です。私の職場である放送局と航空会社とは、ふだんあまり関係ないのですが、在任当時の昭和63年は昭和の終末期、天皇の病状次第では、要員や機材の移動に必要な東京・青森間の飛行便の確保が地方放送局への厳しい要請でした。異常な緊迫感の中、報道各社が色めき立ち右往左往した昭和から平成への数か月、東京便の手配や大雪による運行情報など、Aは商売を離れて私に便宜を図ってくれました。反対給付としてはラチもない地方政界裏話ぐらいでしたが……。妙に気の合った友でした。

「じょっぱり会」は東京でも続いています。青森で出会った仲間のほとんどは東京の本社へ戻ってきました。東京で顔を合わせる機会は、もうありません。が、それなりに楽しく過ごした青森が忘れられない面々が、東京でも会おうじゃないかと寄り合って「東京じょっぱり会」をつくりました。平成元年の暮れのことです。以来、年4回の例会を重ねて30年になり、今年5月の例会で106回を迎えます。当時の仲間ほとんどが仕事を終え、悠々自適といえは聞こえはいいのですが、年金暮らしの毎日。カネは無いけど暇はあるOBたち、すっかり老人会の雰囲気ですが、例会には、毎回奥さんたちを交えて30〜40人が集まります。奥さんたちの参加の理由は、単身時代の罪滅ぼしというわけです。なんの罪でしょうか？

そんなわけで、一時期、ある地方都市でめぐり会い、血気盛んにライバル同士で情報を探り合い、異業種との付き合いで外の世界のアレコレを学び、サラリーマンとして充実した数年を送った体験は、私だけでなくそれぞれの人生にとって貴重な財産になったと思うのです。



第17回「異業種交流会」

去る4月21日、関東同窓会の第17回「異業種交流会」(写真2枚ご参照)に参加しました。参加者は20名ほど、今回も、自動車、IT企業、通信、報道、弁護士……バラエティに富んだ会員が集まりました。ゲスト・スピーカーは私と同期の長倉慎一君。警察官僚(元・近畿管区警察局長)という厳しい職業生活を送っただけに、現役の頃の警察官としての信条や苦労話もさることながら、リタイア後も健康には十二分に留意しているという生活態度は参加した後輩諸君の参考になったことと思

います。耳の痛い某々君もいたようでしたが……。後半は、ささやかにアルコールを口にしながらの懇親会。そこかしこで語り合う参加者の真剣な表情や笑い声に、同窓会っていいもんだなあ、とつぶやいたものです。

次の交流会は10月20日(金)とか。静高の同窓生には、先輩・後輩を問わず、またどんな職種にもかかわらず、一人ひとり珠玉の職業体験を持っているものです。もちろん、あなたにもあるはず。その成功談を聞き、その失敗談に耳を傾けましょう。職業人としての見聞を広めましょう。タコツボから這い出ましょう。

Aの回復を祈りながら。

2017年春

〈参考〉

「同声相應じ 同気相求む」の意
出典「易経」

同じ気質をもった者や気の合った者は、互いに寄り集まるものだ。

カメラ雑感

爺の自慢話？

64期 佐野 旭

故事、諺の中に「年寄りには家の宝」と持ち上げるものも、「秋の入日と年寄りは、だんだん落ち目が早くなる」なんて貶めるものもあるようです。そこで落ち目の途中でチョット「イック」……

二百本に近いネガフィルムと、百数十冊のミニアルバムも、未整理のまま段ボール箱で眠っている写真も、今ではすっかり我が家の「ジャマモノ」扱い。

末の孫が高校時代、「写真部に入った……」「市の高校生コンテストで優勝した……」と言うので。

爺「カメラは……？」

孫「学校のフィルムカメラ……」

爺「じゃあ、爺のカメラ、よかったら持って行け……」と。

二機種と交換レンズを渡すも、その後の戦歴も聞こえず、卒業



と、標準、望遠の2本のレンズを持っていけば相互に取り替えられ重宝したものです。できれば広角もほしい。

最近はずームレンズが主流で、35mm、80mm、120mmの2本を持っていれば十分です。永年カメラをいじっている中で、一寸した自慢話を…。それは長女、長男とも誕生時から成長を8ミリフィルムに保存しておいたことです。

先年、婿（長女のつれ合い）が「僕には子供時代の写真がない、ましてや映画なんて…」「大変羨ましい、貴重だから…」と、傷みの激しいフィルムからDVD4枚に編集してくれ、付いたタイトルが『佐野家の8ミリ』。

このDVDの中に、自転車でリヤカーを引いた豆腐屋が、遠くからラッパを吹き吹き登場。こちら側では鍋を手に豆腐屋を待つ「マゴ」と「バーバ」と「愛犬」…。

これがヒョンなことから静岡朝日テレビの目に留まり、借用話に発展、「昭和30年代の静岡」という番組の中で登場した由だが、小生は観ることができなかった。その後平成28年8月28日のテレビ朝日「報道ステーション」の中で再び使いたいとの話。

当日、今か今かと待っていたが、なかなか登場しない。17時を回ったころようやく放映…。夏の朝、清水公園でのラジオ体操風景（パン、アップ）、出席カードにハンコを押してもら

う子どもたちの姿。そのカードのクローズアップ、乳母車に孫を乗せて帰る爺様などの場面もともに放映されました。撮影者の名前もチャンと出ていました。わずかな数秒前後のことでした。

が、八十歳半ば過ぎのジジイのチョットした自慢話になりました。

私と静岡とおでん

高田馬場に「出会いの店」

112期 市川 徳二

部活帰りに仲間たちと通った高校近くのおでん屋。これが私の原点です。社会人が仕事帰りに同僚と一杯引っ掛けて日々の疲れを癒す図がありますが、当時の私もまさにそのような感じで、下校時に仲間たちと近所のおでん屋に通っていました。ここでは先輩や後輩、部活の垣根を超えた独特なサロンが形成されており、学校生活の他愛もない話や勉強の苦悩、将来への漠然とした不安を皆で語り合っ

ていました。地方都市に生きる高校生の青春の縮図が、さながらおでんの鍋の如く濃密に煮詰まっていた。

静岡のおでん屋には他の飲食店には無い、何か独特なものがあります。それは人と人とが自然に繋がり、そして地域と結びついてゆく不思議な力。自分がお店の、引いては静岡の一部に含まれていることを優しく肯定してくれる母親のような安心感とでも言いましょうか。私は高校時代この不思議な繋がりを子

供ながらに漠然と感じ、おでん屋を愛し、多くの思い出を積み上げてきました。その青春の一枚一枚は今でも私の胸の中で明るい火を灯し続けています。

27歳で起業しましたが、34歳の時に新しいビジネスを構築することになり、真っ先に思い浮かんだのがこの高校時代の良き思い出でした。「昔通った静岡のおでん屋のような温かく楽しく、人と人が自然に繋がるお店を作りたい。」こうして私は2012年に高田馬場に静岡おでん「ガッツ」を開店させたのでした。今思えば

飲食店での実務経験や実績も何もない私がこのような店を突然開くなど本当に無謀極まりないことだったとしみじみ感じています。

当然開店当初は閑古鳥が鳴く毎日でした。それでも「静岡おでん屋ならではの温かさ」を中心に据えた日々の営業の積み重ねは次第にお客様の心に届き始め、徐々に来客数は伸びていきました。

更に静岡同窓生の皆様のご最厚もあり、開店5年経った今、私は忙しくも（次頁最下段へ続く）



静岡おでんガッツ店内

被災地でボランティアに汗

有志で岩手ツアー、今年も多くを学び楽しむ

静高関東同窓会有志による岩手ツアーが五月三十一―四日に行われた。現地で震災・災害復興などの活動が続いている寺井良夫氏(92期)を訪問するとともに、現地を見学する企画で、今年で四回目。八七、九一、九二期の八人が参加した。過去三回が東日本大震災の被災地を訪ねたのに対し、今回は昨年夏の台風で甚大な被害を受けた岩泉町を訪れ、ボランティア活動に汗を流した。

岩泉町の台風禍は高齢者施設の被災で九人が亡くなった件が知られるが、実は各地で河川氾

濫や土砂崩れによる被害が多数発生した。今も各所に壊れた家や倒れた電柱が残っていた。家を修理して住めるようにしたり、解体を進めるためには、泥のかき出し、家財の運び出しなどの作業が不可欠で、それをボランティアが担っている。昨年以來延べ一万五千人以上が参加し、七万件以上を処理したという。

一日の朝、同町ボランティアセンターの指示に従い、大川地区という山間地を訪れた。お婆さんの独り住まいだった家は山津波に襲われた。家屋は傾き、室内には岩石や土砂が残り、そ

ボランティアの作業を終えて
集合写真

山津波に襲われた家から家具などを運び出し、解体工事ができるようにした。

初日夜は囲炉裏を囲み、屋間に採取した山菜の料理や岩魚を味わいつつ談笑した。



の中に家財道具が埋没・散乱していた。

参加者総掛かりで壊れた家具や衣料、食料品などを運び出し、分別して土嚢袋などに詰め込んだ。災害当日避難していて難を逃れたお婆さんやご家族の方が立ち合い、取っておく貴重品がないかなどの確認をお願いした。約五時間の活動を終え、運び出した量は大型トラックに積み重ねるほど。それでも一部を処理し切れなかった。家族の方には何度感謝され、大変恐縮した。心地よい疲労感が残った。

「被災地のボランティア活動はこんな形で一つ一つ積み重ねられているのか」と実感した。

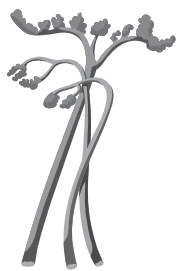
ツアーの途中、廃校となった小学校分校を利用した道の駅で昼食。



参加者の意欲はもちろん、課題の優先順位付けや段取り調整の重要性を改めて認識した。学んだことは多かった。

ツアー初日は小雨降る中、岩泉の山中で山菜採りに挑戦。ウド、コゴミ、ワラビなどを摘んだ。夕食は囲炉裏を囲み、「成果」の山菜や岩魚を堪能した。毎年のことだが、有意義で楽しい時を過ごした。

(岩手ツアー参加有志)



充実した日々を過ごせています。静高出身の皆様には、関東でのお集まりや甲子園の野球観戦等で日々ご愛用頂いております。本場に毎日ご来店頂き、感謝してもし切れません。偶々居合わせた同窓生の方々はご紹介をさせて頂いたりもしています。当店新たな縁を繋いで頂き、未来の為に役立てて頂くこと。それも当店の役割の一つであり、お世話になっている母校への恩返しだと思っています。昔を懐かしみ明日を生きる同窓生の皆様の笑顔が私にとってはこの上ない喜びと幸せであります。

今後は地域の一飲食店の枠に収まるのではなく、更なる高みを目指して活動の幅を広げて行くつもりです。静岡おでん屋の良さを伝えるだけではなく、地元静岡の素晴らしいものを広めることに更に情熱を注いでいきたいと思っています。道のりは遠く険しいですが、毎日仰いだ富士の山のように高く美しく歩を進めて行きたいと思っています。印高という言葉が常に私の胸の中で生きる源として輝いています。

平成28年度決算、黒字化を達成
ご協力、ありがとうございました

平成27年度決算は赤字となり皆様にはご心配をお掛け致しましたが、平成28年度は諸会議・諸委員会それぞれの出席者・参加者の皆様の過分なご協力を得、会費（自己負担分）を増額することなどによりで黒字で纏める事が出来ました。ここに紙上を借りまして、改めて関係各位のご理解に感謝申し上げます。
(副会長 84期 杉山順一)

平成28年度 収支決算

自平成28年 4 月 1 日～至平成29年 3 月31日

(収入の部) (単位：円)

科 目	決 算 額
年 会 費	2,004,000
総 会 ・ 懇 親 会 費	892,000
会 報 広 告 料	300,000
本 部 助 成 金	250,000
利 息 ・ そ の 他	66,551
計	3,512,551

(支出の部)

総 会 費	1,421,244
会 報 発 行 費	1,220,000
役 員 理 事 会 費 等	210,256
旅 費 ・ 交 通 費	16,140
銀 行 郵 便 局 振 込 料	64,968
通 信 費	41,864
事 務 費	240,000
消 耗 品 費 ・ 雑 費	21,348
慶 弔 費	0
予 備 費	54,000
計	3,289,820

○収入：対予算 162,551 円の増
○支出：対予算△84,820 円の減
○従って平成28年度収支決算は単年度 222,731 円の黒字となり、次年度繰越金は 3,227,837 円となります。

「卒業15年目の会」を開催、
総勢60人が参加
高校生活の懐かしい
思い出話などで
盛り上がる

「卒業15年目の会」を5月20日(土)に東京・八重洲で開催しました。この会は昨年スタートし、今年は2回目で、118期(2002年卒)が対象。静中・静高関東同窓会にこれまで以上に若い皆さんに参画していただき、同窓会のさらなる活性化につながることを祈念して昨年から始めたイベントです。同期の絆を高め関

東同窓会へのご理解を頂くよう、活動紹介と7月7日の総会・懇親会を案内しました。30代前半の最も忙しい年代ですが、118期48人(男子19名、女子29名)、同伴のお子様9人、同窓会役員4人総計61人と、昨年を大幅に上回る方々が参加して、大いに盛り上がりました。卒業以来初の出会いという人たちも多く、静岡で過ごした高校生活の懐かしい思い出や最近の仕事や家庭のことなどで話の輪が広がりました。

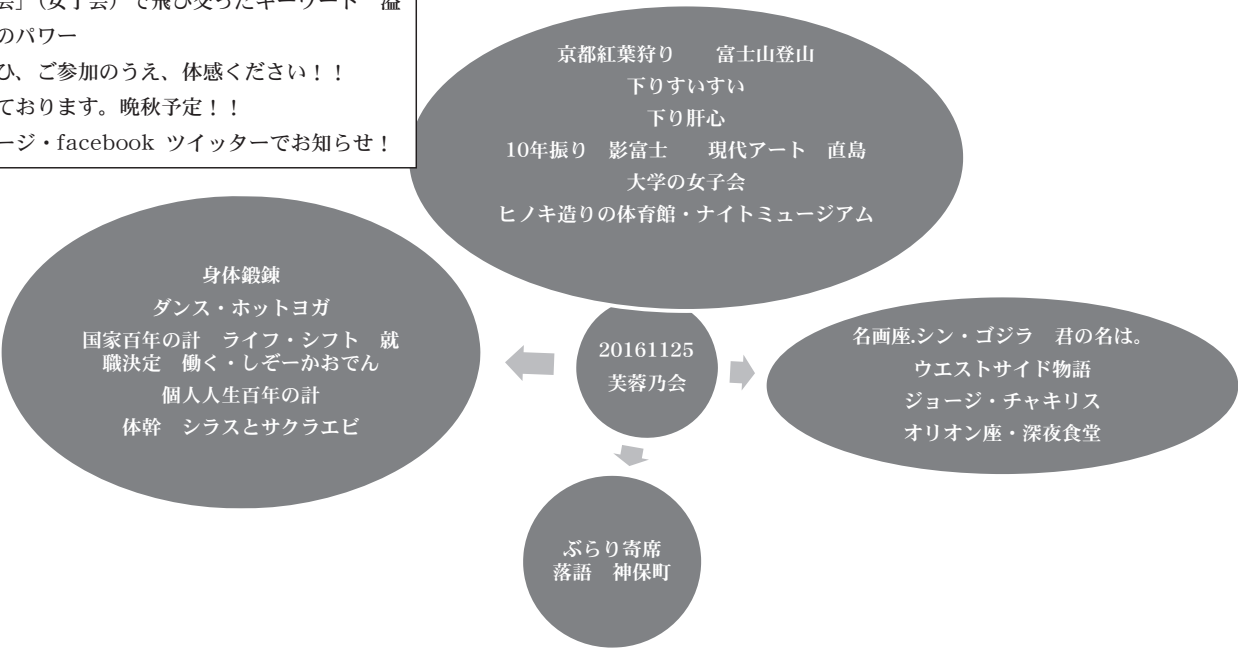


楽しく旧交を温めました

し、3次会、4次会まであったようです。

芙蓉乃会

「芙蓉乃会」(女子会)で飛び交ったキーワード 溢れる言葉のパワー
今回はぜひ、ご参加のうえ、体感ください!!
お待ちしております。晩秋予定!!
ホームページ・facebook ツイッターでお知らせ!



追悼

岡部 政之 元副会長
(81期)

「蒙古斑」が残っていた
万年青年

80期 上出 和子

もう、十年以上前のことです。
毎年2月に開催される関東同窓
会の幹事会で、「1年先輩で田

口さんという人を知っていますか？」と声を掛けてきた方がいらっしやいました。声を掛けてきたのは岡部さんでした。彼が何故1年以上の私を知っていたのか、何故声を掛けたのかは分かりませんが、「私ですが」と返事をしたことを覚えています。その時、何を話したのか記憶にありません。結果としてそれ以降、同期の方々と共にお付

き合いをさせて頂きました。正に静岡高校関東同窓会が取り持つ縁でした。その年は80期が当番幹事で、総会での講演者は明治大学教授の齋藤孝さんでした。齋藤さんは約束時刻に現れず、司会を担当していた私はその場で時間調整をしなければならず、総会進行の役員の担当もあまりはつきりせず、適当に進行していたよ

うな気がします。そんな不手際があり、我々80期の当番幹事終了後に引き継いだ81期の先頭に立ち今回の総会を運営したのは彼でした。彼は、何事に対しても真面目なので、81期が当番幹事の時は同期生を集め、彼や仲谷さん、本多さん達が講演者等色々考えて企画を立てていました。我々80期の時の反省から改革がなされ、前回よりはスムーズにことが運びました。

その後、関東同窓会

幹事会そのものがごたごたし、上杉会長の後任を決めるに当たり擦ったもんだしたり険悪な雰囲気になったり、会計の事で考え方が合わなかったり……。その後彼は副会長として名簿整理、パソコン導入、総会進行マニュアルの作成等々関東同窓会に尽力してくださいました。その間、他の役員と意見が合わないことも多々あったようです。そんな時、口を尖らせて抗議するかのようにご自分の意見を述べるところがありました。何せ、マイノリティー、かつ、万年青年のよう

東京からこんにちは

静岡市にゆかりがあり、東京を拠点に内外で活躍する皆様に、東京から見た静岡市の良さと可能性、またつくりの方向についてご提案いただきます。

底辺拡大に取り組み

病気をしどきに知人の勧めで始めたのがナンプレ。通称ナンプレと呼ばれるパズルだ。一解いているうちに自分でつくりたいとつまらなくならぬ。得意の数理、科学計算を生かし、パソコンで1年間かけて360兆もの問題を作成できるデータベースを構築。出版社から難問集の執筆依頼を受け、2014年1月、作家デビューした。

岡部さんは代々、京都賀茂大社系列の神官を祖とする。岡部さんは東岡部家の11代目で、2代目の末弟は万葉集の研究で有名な江戸時代中期の国学者歌人、賀茂真淵。「ナンプレは標準的な14連の隠れ数字、高度なダブルクロス、トリプルクロス、基本的には6つのわながこれだけ入っているからあり、数字のかくれんぼです。見る角度を変えたり、ソフを掴めばどんどん進歩していく。脳も鍛えられます。岡部さんは解く面白さだけでなく、つ

静岡オリジナルに期待

静岡市について、岡部さんは文化を創り出すマスターがいつはいるまちであってほしい。そのためには、例えば、大道芸にしてもよからず持つだけでなく、自前の大道芸、イラストをどしどし育ててほしいですね。そして文化として根付かないじゃないかと思うんです」と指摘する。

「お茶の分野などで頑張っている人もいますが、もっとも静岡オリジナルのマスターが現れてほしいですね。ナンプレ文化の普及に向け、静岡の特色に若い人たちが問題創作のマスターとして育つことを期待する岡部さん。もし地元で大学等で創作にチャレンジしたいという「同好会」が出てくれればソフトを提供して欲しいと熱い視線を送る。サライマン生活を辞めて2年余。東京でのビジネス上の留意点を尋ねると、あまり参考になることは言えませんがと断った上で「やはり特徴をどこに求めるかでしょう。常に自己研さん。静岡をベースにした特徴を出すことが必要でしょうね。」(写真文・長田義明)

文化を創出する
マイスター



パズル作家
岡部政之さん
Masayuki Okabe



経歴

浜松市出身。専立静岡高校卒業、東京大学大学院博士課程修了。専門は産業機械工学、数理科学、三井金属鉱業株式会社入社。ミカンやメロンなどの糖度を測る糖度センサーの開発プロジェクトリーダーを務めた。同社退職後、外資系非鉄金属会社の品質保証部長などを歴任。67歳。先進ナンプレ協会代表。著書に「超絶難問 ナンプレ150」6冊(いずれも永岡書店)。2015年1月に同書店から超絶難問シリーズ2冊を新たに刊行。理系専門書も出版している異色のパズル作家。

計報

静岡・静高関東同窓会の元副会長の岡部政之氏(81期)が2017年1月7日(土)に逝去されました。東京大学大学院博士課程修了後、三井金属鉱業株式会社入社。産業機械工学、数理科学、計算力学の専門書を多く執筆されました。病氣療養中に趣味として始められたナンプレについても一家を成し、難問の中でも「超絶難しい」最上級クラスのナンプレ本を次々と上梓され話題になりました。

な人でしたから。

また、彼は面倒見が良い人でしたので、同窓会における主流派(?)とは意見が異なる人達の意見を吸い上げるため「飲み会」を設定し、日程調整、会場設定等々幹事役を自ら買って出てください、表からは見えな

いところ、そんなこんな色々お世話になりました。本当にありがとうございました。今は飲み友達が逝ってしまった、寂しい思いをしています。

世代を超えた同窓の絆 奮って参加を!!

10月20日に第18回異業種交流会

静岡・静岡高関東同窓会の異業種交流会は、2017年10月20日(金)に第18回目を開催します。毎回世代を超えて多くの方々にご参加いただいております。楽しく有意義なひと時を共有しましょう。多くの方々にご参加いただいております、ツイッターでも発信されています。

〔静岡・静岡高関東同窓会異業種交流会〕@shizukukoutou

なお、静岡・静岡卒業生の皆様のほかに、「友呼び」といたしまして、同窓生の同伴を前提に、ご家族をはじめとする卒業生以外の方の参加をご依頼し、より有意義な会にして参りたいと思います。

先輩・後輩・お客様等に一声おかけ頂き、ご参加いただきたいと思ひます。さらに交流の輪を広げていきましょう。

日時 2017年10月20日(金) 午後6時30分～8時30分

会場 日本プレスセンタービル

日本記者クラブ9階大会議室

会費 5千円 家族・現役学生3千円

ファーストスピーチは、出版印刷界の重鎮、伊藤勝出版印刷元社長・会長(71期)の予定です。ご参加は下記にご連絡ください。

Eメール kksamatsu-rop@wine.ocn.ne.jp

もしくはFAX 03-3257-9820 (静岡・静岡高関東同窓会事務局)

なお、前回4月21日の第16回異業種交流会は、今会報掲載の連載エッセー「たかが同窓会されど同窓会⑭」(浦田彰氏 4頁)で紹介されております。

異業種交流会事務局

笠松 一久 (89期)

青山 亮介 (119期)

さー一冊から始めよう

古書コミ!!

7月総会でも

開催します!



去る2月17日の各期幹事会にも、今年も多くの本を持参いただきました。本当にありがとうございます。

ごさいます。

まずは1冊! 読み終えた本のリレーに参加しませんか。同窓生をつなげる活動です。同窓の皆さまにお手伝いいただき、輪を広げております。

7月7日(金) 同窓会総会においても「古書コミ」実施いたします。

(90期 山下雅子)

「古書コミ 2016年度報告」

同窓会総会 (7月)	幹事会 (2月)	総計
第5回 6,033円	第6回 2,631円	8,664円

図書券寄贈は7月総会時寄贈予定

70回目の江ノ島会

9月24日に開催

会長 齋藤 俊英 (76期)

今年も開催します。記念の70回を、いつもの場所、いつもの日に!

日時 平成29年9月24日(日)

12時～

場所 相州江の島「恵比寿屋」

会費 7千円

ご出席の方は 幹事・富坂修(82期)までご連絡ください。

〒247-0062

鎌倉市山ノ内759-8

TEL・FAX

0467-25-6166

mail

tomyo607@com.zaq.ne.jp

*今年が発足70年! 素敵な記念品を用意しております!



個人のお客様も法人のお客様も!

各社の保険を扱うことができるため、一人一人に合わせた保険設計をさせて頂いております。保険のセカンドオピニオンとしてご利用ください。法人のお客様向けには、事業保障・相続・承継対策として、プロのファイナンシャルプランナーが幅広くサポートをさせて頂きます。

ファイナンシャル・ジャパン株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-23-1 第3TOCビル10F

ファイナンシャルプランナー (2017年MDRT会員)

青山 亮介 (119期)

090-9931-0929 お気軽にご相談ください!



お一人様でも団体様でも!

カラオケバー BAR K

〒150-0013

東京都渋谷区恵比寿1丁目12-7 三恵31ビル7階 C号室

TEL 03-5423-2287

オーナー 青山 亮介 (119期)

090-9931-0929

関東同窓会、紹介される 毎日新聞『母校をたずねる・静岡高校』で

今年4月から5月にかけて、9回連載（火曜朝刊）で特集された毎日新聞『母校をたずねる・静岡高校シリーズ』（同窓生の活躍を中心に構成したコラム）で関東同窓会が以下のように紹介されました。

同窓会で逍遙歌大合唱
芙蓉のかけを水にくむ 知識の
泉学園に――

静岡県内や関東、中部、関西など九つある同窓会の支部のうち、最大規模を誇るのは、1都6県の広域支部である「関東支部」（静岡・静岡高関東同窓会）。登録会員4000人を数え、毎年7月に東京で関東総会・懇親会を開く。

昨年は「静岡のまちづくりに私たちができること」をテーマに、OBの国土交通省幹部や、地元で町おこしに取り組む卒業生が講演。これに関連して、「黒はんぺんのフライ」や桜エビ、生シラス、焼酎の緑茶割りなど静岡の味覚が振る舞われ、大盛況に終わった。今年の関東総会は7月7日、日本記者クラブ（東京都千代田区）で開かれる。

編集後記

▽総会・懇親会がいよいよ7月7日（金）に迫りました。幹事期95期の皆さんを中心とした準備は万端。魅力的なイベントや懐かしい食材などが楽しめそうです。講演は関心が高い健康問題がテーマですので、ご家族や友人などの同伴も大歓迎です。▽エッセーは関東会報の華。今号も64期から112期まで、年代をこえた玉稿ばかりでした。▽今号から広告枠が4枠増え、合計19枠に。広告出稿にご協力いただける企業・団体・個人を引き続き募集しています。（浩）

◆原稿・写真を募集します！

静岡・静岡高関東同窓会の本会報（年2回＝6月、12月発行）とホームページ（随時更新）は、同窓生と関係者が老若男女問わず行き来する「情報広場」「ニュース交差点」です。関東での同朋会等の開催、同窓生参加イベント、同窓生の活躍ぶり、エッセーなど、お気軽に投稿してください。ファイル添付で以下のメールアドレスにお送りいただければ幸いです。郵送の場合は左記関東同窓会宛にお願いします。会報は

Yamak@reordohina.co.jp
（八牧）

ホームページは

shikawa@yu-to.jp（石川）

静岡・静岡高関東同窓会事務所
東京都千代田区神田鍛冶町
3-17-13 藪下ビル6F
野方法律事務所内

静岡のおでんとお酒と黒はんぺん



静岡おでんガッツ

〒169-0075
東京都新宿区高田馬場 2-19-8
阿部ビル 1 階
03-6273-8663
<http://shizokaoden-guts.red>

代表：市川徳二（112期）



今年度関東総会の講演者、岡本君を応援する
95期有志による広告

岡本外科クリニック

院長 岡本 恭和（95期）

〒422-8006 静岡市駿河区曲金4-7-3

TEL 054-202-0108（おーいおっばい）

FAX 054-202-0109

Lighting For Your Safety

Koito

<http://www.koito.co.jp>

安全を光に託して

人とクルマの安全は私たちの願いです。
グローバルサプライヤー 小糸製作所

【本社】東京都港区高輪四丁目8番3号 TEL:03-3443-7111

【工場】日本、USA、UK、チェコ、タイ、インド、中国、メキシコ 他

小糸静高会 会長 大嶽隆司（74期）

平成二十八年年度 静中・静高関東同窓会会費拠出者一覧表

ご協力ありがとうございます。

52 西田 豊馬

53 加藤 俊雄

54 大畑 忠夫

55 小沢 忠樹、中田 千束

57 鳥居 義彦、岩井 平一郎

58 島村 悟

59 高橋 裕、小花 敏郎、朝比奈 正二、狩野 和男、
田澤 義彦、勝呂 清、青山 勇、橋爪 壮

60 原田 龍二、井田 淳、堤 崇、石関 忠雄、
山本 雅之助、上杉 重吉

61 清水 照彦、西田 駿之介、稲森 慎二、田中 義夫、
藪崎 昭

62 川手 生巳也、香川 一郎、
伊東 守、福岡 純一郎

63 遠藤 栄、岩本 吉雄、狩野 達彦、野澤 正憲、
新井 彰、吉井 駿亮、馬場 泰男、仲野 實、
村上 喜代二、塚本 光彦、佐野 旭、

64 大坪 信之、原野 谷朋司、石川 创二、菊田 聰裕、
馬越 峻、村松 武司、飯塚 二郎、小嶋 清司、
小林 五郎、茂木 為男、増井 和夫、山梨 裕司、
神谷 幸男、福原 亨一、岡村 英二郎、小杉 弘、
向井 久和、朝比奈 正三、鈴木 敏行、児島 英男、
増田 安国、遠藤 一彦、手塚 重明、大石 修而、
小杉 謙一

66 荒谷 じつ子、大石 康博、稲葉 清、
佐野川 好母、吉崎 英輔、宇田 貞子、塚本 浩司、
築地 六郎、岩瀬 順郊、杉山 和子、鈴木 昭夫、
瀬堂 川徹、酒井 定子、磯 西洋

67 谷川 治弘、奥津 きみ子、倉田 聡、植村 守代、
片山 智司、関 哲男、宮代 省一、富田 三樹、
中村 龍二、清水 令一郎、白石 通子、増井 満男、
仁科 俊介、影山 昇、清 智、有田 久、

68 石山 博、市川 三代史、仁科 俊介

70 小池 啓治、浦田 彰、片山 嘉博、奥村 鋭一郎、
伊藤 勝、長倉 眞一、富野 壽、本間 啓司、
宮崎 次郎、山本 雅司、西野 章、望月 祐言、
前田 利彦、栗田 甲子男、諏訪 逸郎、下 薫、
渡辺 敏美、遠藤 吉隆、矢部 正和、石川 宏、
櫻井 通晴、八木 猛、山田 勝、清水 雅彦、
櫻井 正之、内藤 博次、村手 正之、増田 欽一、
山口 公子、夏目 雅之、深田 均

71 中西 英一、西本 昇平、中西 宏幸、大村 康平、
遠山 敦子、仲川 信正、塩津 浩、高橋 美智子、
松永 烈、鈴木 豊、鈴木 聰男、大木 茂、
田中 重穂、豊田 智子、後藤 孝子、岡本 修、
榊原 由之、塩坂 雅司、山下 省三、渡辺 雅俊、
山梨 由記

72 曾根 博義、角谷 治子、佐藤 鐘司、萩原 茂春、
大嶽 隆司、望月 保、鈴木 啓文、井出 宏嗣、
西村 泰一、福沢 千徳、田中 佐知子、藤原 經史、
笹尾 光彦、佐藤 修二、本多 幸吉、小林 銑一、
小栗 悠嗣、今田 肇、川面 忠男、村松 友規、
城之内 一成、柳澤 弥太郎、望月 利人、
勝亦 正安、川瀬 光彦、藤倉 美耶子

73 清水 澄夫、田口 紘一、坂内 三容、國保 能彦、
塚本 平二、富田 駿介、池田 哲郎

74 石山 建一、伊藤 達雄、岩田 守正、勝間田 正喜、
三浦 昭彦、石橋 三洋、大岩 蓮、後藤 嘉代、
松井 義之、柴田 哲男、栗田 収司、岩崎 敏宏、
森 正毅、石間 啓一、清水 雅尚、野方 重人、
山内 幸太郎、中村 邦彦、小長井 奎幸、
飯島 千代美、加治 裕司

75 伊藤 洋之、増田 勲、石山 喬、奥山 和子、
安本 恭介、小林 俊、山本 勇夫、天草 静子、

76 鎌田 勇、垣生 尚敬、石原 庸雄、縣 保佑、
牧浦 義孝、望月 省吾、望月 昭彦、吉野 文郷、
山本 勝、江川 豪雄、村田 吉隆、上田 尚亮、
菅野 佳男、大石 直人

77 柴田 裕、長島 孝太郎、吉野 卓史、小木 哲朗、
鈴木 勝、諸星 勝保、風戸 学、吉田 伸一郎、
上出 和子、松沢 公夫、池ヶ谷 吉人、増田 安久、
野崎 幸彦

78 宮崎 太加志、鈴木 眞男、城田 房子、英 嘉明、
鈴木 一郎、森下 鉄夫

79 堀内 淳司、青島 泰之、小野 宏、大村 多聞、
田畑 秀典、伊達 新之輔、池田 整、
能登谷 尚生、田島 幸司、富坂 修、石津 保彦、
青木 弑、遠藤 良治、櫻田 照男、荒牧 喬平、
大石 正幸、石川 倫男、青木 健一、多賀谷 秀保、
伊東 惇、朝比奈 均、八牧 浩行、吉田 昌史、
金子 恵子、荒牧 喬平、細川 晃

80 中村 豊、西野 直樹、平野 隆史、篠原 良孝、
野呂 克実、増井 敬、馬場 信幸、大石 高志、
鈴木 秀孝、渡水 実根子

81 成田 恵理子、森竹 豊、杉山 順一、水越 伸昭、
古谷 良樹、生駒 光博、貞弘 丈佳、吹井 承三、
野口 洋一、塩谷 立、松島 勤、高瀬 莊一、
渡会 清治、榊原 明生、小澤 治夫、三宅 幸夫、
杉山 昇、榎田 進、勝地 次郎

82 増井 喜一郎、高橋 成彰、北條 正裕、望月 光、
安本 敬、池田 幸司、竹田 徹、杉山 由紀子、
遠藤 とも子、山本 政博

83 84 85

86

87

88

- 86 青山隆一、野口洋亮、野口ひろみ、近藤孝邦、八牧暢行、篠宮 章、江川彰子、長島 正、湯山 茂徳、八木博行、成岡 和美
- 87 水上浩司、川口代志子、安倍 敏陽、篠田 みつ江、藁科 名雄、石川 嘉和、高橋 宏、平岩 正史、石渡 洋行、伏見 徹、泉 洋子、田村 勉、岡田 伸一、片山 修、石神 葉子
- 88 大村 康二、近藤 秀樹、増田 浩之、田中 育恵、大石 裕、木村 幹夫、谷口ひとみ、片山 秀、矢部 みはる、松村 淳子、奥田 晃、山内 智晴
- 89 牧野 尚夫、多々良勝仁、池田 磨佐人、後藤 滋、新村 暢宏、北村 佳久、北村 美佐子、西谷 昭、笠松 一久、鳥巢 修、平川 慶子
- 90 深沢 英昭、佐野 雅明、森田 悦三、山下 雅子、川島 雅行、小川 修史
- 91 東 昌子、小原 裕子、栗山 雅之、伴野 昌厚、鈴木 忠善、伊藤 義和、土崎 弘子、佐野 靖宏、金田 陽子、市川 浩次、船木 真由美、岩崎 哲也、伊藤 めぐみ、矢西 光彦、中村 未弓、宇佐美 恵子、伴野 雅子、小橋 有規子、藤嶋 善彦、前川 系子、村松 秀明、生田 英一郎、西 信之、加藤 裕子
- 92 浮田 聡、田村 真弓、服部 泰子、蓮井 慶子、永田 俊介、日下 淳、清水 篤、園野 康祐、甲斐 祥子、船城 由美子、白石 由加子
- 93 小野 泰洋、野毛 宏、勝又 健次、志賀浦 伴昭、青木 洋、渡辺 正孝、海野 典夫、近藤 明子、稲葉 繁、齊藤 和弘、日比谷 優子、宮島 友子、山岸 泉、阿部 哲也、佐野 啓子、矢部 龍太郎、小池 一徳、大塚 全里子
- 94

○各期ごとに幹事役を決めて同窓会・同期会の活発化を図っています。

○幹事未定の期は至急選出して連絡してください。

- 95 石井 寿子、松永 啓、飯嶋 淑子、松野 敦子、大内 康司、米澤 玲子、田中 理子、齊藤 里美、望月 敏弘、坂本 淳一、奥田 洋子、岩崎 朝一、栗田 明、亀井 晴信、池上 徹、木村 寿克、石部 久雄、山田 方敏、林 信夫、鈴木 文夫、佐々木 晶二、鈴木 富美、大石 修一、照井 徹、谷口 寛明、今泉 宏、木村 純子、柴原 千朗、山口 道男、大木 登志枝、甲賀 聖子、鈴木 真次、仁藤 敦史、安田 響、山内 隆史、石川 雄一、松井 琢磨、海野 元良、中安 昭夫、赤沼 三恵、野中 保晃、吉永 陽子、杉山 隆久、小西 大、池谷 知明、堀之内 聡子、安池 佳典、石垣 克敏、大石 雅彦、牧野 央、金子 優子、細道 靖、小山田 潔
- 96 青木 正樹、海野 仁志、田形 昭乃、山本 茂未、青木 伸、大澤 理、杉本 耕一、亀山 靖、甲斐 洋子、秋山 信田、河村 貞利、鈴木 里絵子、篠原 康子、中尾 安志、朝比奈 正人
- 97 櫻井 のり子、柏木 誠、小林 秀男、福田 浩志、杉田 大志、中沢 京子、内田 雅彦、甲田 直美、本井 眞弓
- 98 山本 浩志、高見 香代、佐々木 秀佳、室田 真男、山下 剛史、加藤 晃史、稲葉 克哉、馬場 厚生、尾高 泉
- 99 長谷川 和也、牧田 秀幸、恒光 隆法、太田 裕弥、100

関東同窓会会費

一年間 3000円

関東同窓会の会計年度は、4月1日より3月31日までのもので、静岡本部は10月1日から、異なりますのでご注意ください。

注!!

コンビニでの会費納入はできません。
同封の郵便局納入用紙で行って下さい。

幼児教育に新しい風を



こぐま会
幼児教育実践研究所

代表取締役 久野泰可 (83期) 取締役 久野淑子 (83期)

本部 東京都渋谷区恵比寿西1-20-6 K&S恵比寿ビル7F
TEL 03-3463-3815

- 101 五十嵐 寧
- 102 夏目 幸一郎、穴澤 敦子
- 103 佐藤 友男、田村 晋一
- 104 日下 雄一郎、萩原 さほり、井上 肇
- 105 大江 真理子
- 106 鈴木 俊郎
- 108 館野 元
- 109 河田 教吾、小澤 康裕
- 110 鈴木 健一郎、小嶋 亮太
- 112 市川 徳二、細田 誠、増田 大輔、森 明子、鶴橋 勝久、土屋 望、近藤 善春
- 114 岩崎 衣里子
- 115 矢田 悠
- 116 内藤 彰人
- 117 佐々木 悠里衣
- 119 渋谷 泰子、青山 亮介
- 120 鈴木 健人

鈴 与 株 式 会 社

代表取締役会長 鈴木 与 平 (76期)

代表取締役社長 鈴木 健一郎 (110期)

〒424-8703 静岡市清水区入船町11-1

TEL 054 (354) 3015 (秘書室)

京浜支店 〒140-0013 東京都品川区南大井6-22-7

TEL 03 (6404) 2100

日本レーベル印刷株式会社

代表取締役会長 岩井平一郎 (57期)

本 社 〒422-8004 静岡市駿河区国吉田3丁目1番1号

TEL 054 (262) 1111(代)

東京支社 〒104-0031 中央区京橋1-1-6 越前屋ビル8F

TEL 03 (3272) 4651 (代)

建築・不動産活用、アート活動などのご相談はどうぞ

ArchitectS Office & Gallery

一級建築士 石川雅英 (94期)

若いクリエイターの支援活動をしています

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町 16-16

T 03 - 5 8 4 7 - 7 7 8 5

F 03 - 5 8 4 7 - 7 7 8 8

architectsoffice@cotton.ocn.ne.jp

www.rvstone.com

お茶の心を伝える

愛 国 製 茶 (株)

代表取締役会長 馬場 泰男 (64期)

本 社

東京都新宿区西早稲田3-7-9 TEL 03-3207-1611(代表)

高田馬場店

東京都新宿区高田馬場4-12-7 TEL 03-3363-6611(代表)

同窓会で人の輪を!!

野 方 重 人 法 律 事 務 所

弁護士 野 方 重 人 (77期)

〒101-0045 千代田区神田鍛冶町3-7-3

藪下ビル6F

(TEL) 03 (3251) 2348

(FAX) 03 (3257) 0820

24時間! ニュースを通じて「世界平和」に貢献する

Record China

日本最大の中華圏情報サイト(日本語)

Record Japan

中華圏最大の日本情報サイト(中国語)

代表取締役社長・主筆 八 牧 浩 行 (82期)

本社 東京都港区新橋2-20-15 新橋駅前ビル1号館7F

TEL 03-3573-7501(代) FAX 03-3573-7503

相続税・法人税・所得税などのご相談はどうぞ!

鳥 巢 修 税 理 士 事 務 所

税理士 鳥 巢 修 (89期)

OSAMU TOSU

〒167-0041 東京都杉並区善福寺1-30-17

TEL 03(3396)3858 FAX 03(3396)3848

E-mail: tosu@mtj.biglobe.ne.jp

* 昼 2 時より夜11時まで診療 *

医) 名泉会タカラ歯科診療所

代 表 ^{ワラ シナ アキ オ} 藁 科 名 雄 (87期)

東横線 中目黒下車 徒歩 5 分

TEL 0120-376-480

FAX 03-3710-8847

〒153-0051 目黒区上目黒2-18-13

みんなでわいわいガヤガヤと

ブックカフェ 二十世紀

コーヒーと軽食、夜はワイン他

貸切パーティー承ります

鈴 木 宏 (91期)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-5-4 2F

TEL 03-5213-4853

古本売買 出張買い入れ ご相談

二十世紀記憶装置

@ワンダー

鈴 木 宏 (91期)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-5-4

TEL 03-3238-7415

フリーダイヤル 0120-154-727